



令和7年度（2025年度）

事業報告書及び附属明細書

経営理念

みんなの参加と協働で包括的な支援体制をつくります。

一人ひとりの思いを大切に、寄り添えるサービスを届けます。

自らの組織や事業の説明責任を果たし、経営基盤の強化・充実のもと信頼される持続可能な組織づくりを進めます。

<令和8年3月制定>

社会福祉法人 小山町社会福祉協議会



❖❖❖ 小山町社会福祉協議会は共同募金の助成団体です ❖❖❖

目次

1	福祉のひとづくりの推進 《人間力》	3
(1)	広報啓発活動の推進	3
(2)	福祉教育（共育）活動の推進	4
(3)	ボランティアの輪を広げる活動の推進	5
(4)	住民参加の活動を支える	7
2	共生の地域づくりの推進 《地域力》	10
(1)	相談支援体制の推進	10
(2)	生活困窮者自立促進支援事業の推進	12
(3)	資金貸付による経済的自立及び生活意欲の助長	15
(4)	権利擁護体制づくりの推進	16
3	福祉の基盤づくりの推進 《福祉力》	19
(1)	高齢者等への支援活動の推進	19
(2)	サービスの提供力を高める	20
(3)	社会福祉法人等との連携による地域課題解決に向けた取組	20
(4)	社会福祉法人としての「地域における公益的な取組」の推進	21
(5)	法人組織の基盤を強める	22
(6)	安定した自主財源の確保	30
4	指定介護保険事業の経営	31
(1)	居宅介護支援事業の経営	31
(2)	訪問介護事業の経営	32
5	指定障がい福祉サービス事業の経営	34
(1)	居宅介護事業の経営	34
(2)	就労継続支援B型事業の経営	35
II	事業報告の附属明細書	37



このマークが表記されている事業は、共同募金の助成を受けています

1 福祉のひとづくりの推進 《人間力》

(1) 広報啓発活動の推進

ア 地域福祉活動情報紙「つながり」の発行

年4回発行し全戸配布しました。

	発行月
No. 37	令和7年 4月
No. 38	令和7年 7月
No. 39	令和7年10月
No. 40	令和8年 1月

イ 公式ホームページの運営及びSNSの活用による情報発信の促進

公式ホームページを管理運営し、情報を更新し、各種情報等を広く公開しました。さらに、SNS（インスタグラム）との連携により、本会活動の紹介、行事の案内、各種情報等を広く公開しました。

ウ 年度版法人案内パンフレットの発行

経営理念、事業体制及び事業内容、組織及び組織運営等をまとめたパンフレットを作成し、全戸配布し、公共施設窓口にも備え置き、さらに本会公式ホームページに掲載し、本会に対する理解促進を図りました。

エ 若年性認知症理解研修会の開催

社会的に大きな問題となっている若年性認知症と共に暮らせる社会をつくる必要があるため、若年性認知症の人の理解と対応の基本について考える研修会を開催しました。

[開催日] 令和7年12月6日

[会場] 小山町総合文化会館

[内容] 実話に基づく映画「オレンジ・ランプ」を上演するとともに、講師「若年性認知症コーディネーター 杉浦綾乃」氏をお招きし、講演していただきました。

[来場者数] 137人

オ 包括的支援体制研修会の開催

「地域共生社会」を実現するため、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みを構築することが求められているため包括的支援体制の理解のための研修会開催を予定したが、町が実施した研修と重複することとなったため、7年度の実施を見送ることとした。(3-(5)タ参照)

カ 小山町ふれあい広場の開催

地域福祉活動の必要性や現状の理解促進、ボランティア活動等についての意識高揚を図るための啓発活動として開催しました。

[開催日] 令和7年9月13日(土)

[会場] 小山町生涯学習センターエリア内

[参加団体数] 26団体・施設

[来場者数] 延べ700人

[その他] おやま健康フェスタ(小山町等主催)との同日開催

キ 小山町健康福祉大会の開催(1-1)

多年にわたり地域福祉や地域医療の発展に功労のあった方々を表彰し、なお一層の活躍を期待するとともに、住民主体による助けあい活動など、小山町の地域福祉のさらなる充実をめざす機会として開催しました。

[開催日] 令和7年12月4日(木)

[会場] 小山町総合文化会館・菜の花ホール

[内容] 表彰式典(町優良従業員感謝状、町社協会長表彰、県共募会長感謝状、献眼感謝状関係)、啓発展示物の展示等

[来場者数] 122人

(2) 福祉教育(共育)活動の推進

ア 福祉系大学や専門学校等ソーシャルワーク実習の受け入れ(1-1)

小山町及び近隣市町出身で社会福祉士等の資格取得を目指している学生及び社会人等の現場実習を通じて、社会福祉理念の構築と実務経験のための実習生の受け入れを実施しました。

[受入可能実習] ソーシャルワーク実習

[受入可能人数] 一日あたり最大2人

[実習指導者養成研修修了者] 4人(社会福祉士)

[受入実績]

①受入れ人数 ソーシャルワーク実習Ⅱ: 1人(相模女子大学の学生)

②受入れ期間 令和7年8月4日(月)～9月13日(土) 24日間
(ソーシャルワーク実習Ⅱ)

イ 中学生職場体験学習の受け入れ(1-1)(1-2)

町内中学校が「総合的な学習」やキャリア教育の一環として、生徒一人ひとりの興味や関心等に沿って職場体験学習の受け入れを行いました。

○北郷中学校

[期 日] 令和7年10月23日(木)、24日(金)

[参加者] 中学2年生1人

[実施場所] アップル、社協本部

[体験内容] カフェポムでの接客体験、アップルでの就労支援体験

○須走中学校

[期 日] 令和7年10月28日(火)、29日(水)

[参加者] 中学2年生1人

[実施場所] カフェポム、社協本部

[体験内容] カフェポムでの接客体験、アップルでの就労支援体験

ウ 特別支援学校生と中学生の交流会

特別支援学校小山分校が開設され日が浅いことから、7年度は見送ることとした。令和8年度に令和9年度以降の実施について検討することとした。

エ 小中学生の高齢者疑似体験イベント

「高齢」になると、若い頃と違い思うように身体が動かず「できない」が増えていきます。そんな高齢者等の不便さを疑似体験し、自分が何をできるかを考える機会として、高齢者疑似体験イベントを実施しました。

[期日] 令和7年9月13日(土)

[実施場所] 小山町総合文化会館(ふれあい広場にて実施)

(3) ボランティアの輪を広げる活動の推進

ア ボランティアセンターの運営(1-2)

地域社会にボランティア活動の定着を促すため、一部の限られた人たちだけが活動を行うのではなく、地域のさまざまな人たちが、気軽に楽しく、日常的に活動に参加できるよう、ボランティアセンターの運営による支援を行いました。

[事業内容]

- ・ボランティア活動や住民活動に関する情報提供及び相談・連絡調整
- ・ボランティア(個人・団体)の登録やニーズの受付
- ・ボランティア活動保険やボランティア行事用保険の加入促進
- ・民間福祉財団等による助成事業の案内・推薦
- ・生活支援コーディネーター等との連携による人材発掘や組織化支援

イ 第44回サマーショートボランティア活動の共同開催(1-2)

中学生が夏休みを利用したボランティア活動体験プログラムとして県内の社会福祉施設や社会教育施設での活動を通じて、福祉・ボランティアに対する理解を深めるとともに、自らの進路を考え、社会に目を向ける機会とすることを目的として実施します。

[主催] NPO法人静岡県ボランティア協会

[協力内容] ・各中学校等への募集案内
・受け入れ先と参加者の調整
・事前研修会の運営支援等

ウ 大規模災害に備えた災害ボランティアのネットワーク構築の推進

予想される東南海地震や神奈川県西部地震、富士山噴火、局地的な風水害などの自然災害に備え、被災地域の復旧及び復興に不可欠な災害ボランティアセンターを中心としたボランティア活動を効果的かつ円滑に行うことができるよう、平時から町行政を含めた県内外の関係機関や団体との連携を強化し、災害ボランティアにかかる機能的な体制を構築するための取組を行いました。

[取組内容]

・令和7年11月18日(火)に開催された災害対応研修会に12人を出席させ、関係強化に努めました。

エ 災害対応研修会の開催

県内外において災害ボランティアセンターの開設・運営に携わった関係者による支援活動事例報告、平時から取り組める地域福祉活動等について、理解を深めることを目的に開催しました。

(ア) 災害ボランティアセンター運営方法を学び、同センターの運営を支援するボランティアの啓発講座を開催しました。

[開催時期] 令和7年11月18日(火)

[参加者] 災害ボランティアセンター運営に携わる社協職員
災害ボランティアセンターの運営支援に興味のある方

[会場] 小山町健康福祉会館 多目的ホール

[テーマ] 「災害ボランティアセンターのICTを活用した運営について」
講師 漆畑友香(県社協)

[参加者数] 12人

(イ) 災害ボランティアセンターを運営するためのデータベース(県社協作成)を利用した同センターの立ち上げ及びボランティアニーズの受付等を体験し、データ共有の手順を学ぶ研修を開催しました。

[開催時期] 令和7年11月18日(火)

[参加者] ・自主防災組織や地域福祉活動関係者
・行政や社協、社会福祉施設
・サービス事業所関係者等

[テーマ] 「データベースを利用したニーズ票の見方等」
講師 静岡県社会福祉協議会職員

[参加者数] 12人

オ 住民参加型福祉サービス担い手養成講座の開催

超高齢化社会では、年齢や制度の枠にとらわれず、住民同士がお互いさまの感覚で生活全体を支え合う活動であり、地域住民が互いに助け合い、支え合いながら活動することが特徴の活動である住民参加型福祉サービスの推進が必要不可欠です。

本会では、現在「オンリー・ユー♪」や「おまち堂」においてボランティアが活躍されていますが、担い手であるボランティアが減少しています。

そのため、生活支援体制整備事業と連携しながら、近隣市町や本会で活躍されている方を講師に迎え、体験談を発表していただき、住民参加型福祉サービスの理解を深める研修を実施しました。

[開催時期] 令和8年2月26日(木)

[参加者] ボランティアに興味のある方

[会場] 小山町健康福祉会館 会議室A

[テーマ] 「傾聴」

[参加者数] 33人

カ 中高生ボランティア講座

超高齢化社会では若い世代のボランティアの存在が重要です。

中高生がボランティア活動を体験することにより、社会人になっても地域福祉に関心を持つようになることが、ひいては地域福祉の推進につながります。

そのため、福祉系のボランティア講座を実施しました。

[開催時期] 令和7年10月13日(月)

[参加対象] 中高校生

[内 容] 高齢者施設にて高齢者と関りをするボランティアを実施
[参加者数] 1人(中学生)

キ こども食堂連絡会

沢山のつながりをうみ、子どもも大人も互いを尊重しあう地域をつくるため、町内に3か所あるこども食堂運営者の情報共有を行うとともに、食堂間の連携を強化するため、こども食堂連絡会を開催しました。

[開催団体]

「一般社団法人 おたまちゃん食堂 小山町支部」

活動拠点：小山町阿多野

「須走ふれあい食堂おいでよ」 活動拠点：小山町須走

「小山町みんなの食堂」 活動拠点：小山町小山

[開催日] 令和7年8月30日

[参加者数] 3団体5人

ク 施設法人との防災訓練の実施 (1-2)

災害ボランティア活動用資材倉庫設置先の施設法人との連携による防災訓練を実施しました。

この訓練の実施により、福祉避難所に指定されている社会福祉施設と地域のボランティア団体との平時における連携強化が期待できます。

[開催日及び開催場所]

① 令和8年3月10日(火)

社会福祉法人婦人の園 障がい者支援施設インマヌエル

② 令和8年3月10日(火)

社会福祉法人寿康会 特別養護老人ホーム平成の杜

ケ ふれあい茶論運営協力委員養成講座の実施

講座内容と講師との調整がつかなかったため、実施を見送りました。

(4) 住民参加の活動を支える

ア 福祉関係団体の運営支援【全8団体受託】

福祉団体・当事者団体の自主的かつ円滑な運営に寄与するとともに、活動内容等に関する相談助言等を通じて、地域福祉活動の充実を図るため、業務の全部又は一部を受託しました。

[業務受託団体名]

○団体事務及び経理事務受託団体

・小山町共同募金委員会

・小山町シニアクラブ連合会

・小山町忠霊奉賛会

○団体事務のみ受託団体

・小山町手をつなぐ育成会

・小山町赤十字奉仕団

・小山町ひとり親会

・小山町身体障がい者福祉会

・小山町遺族会

イ 地域福祉活動事業費助成事業の実施

自主的に地域福祉活動を実践した団体(事前申請が必要)10団体に59万円を助成しました。

ウ 小山町民生委員児童委員協議会との連携による地域福祉活動の推進

地域福祉活動の充実強化のため、小山町民生委員児童委員協議会との連携による活動を推進しました。

- [内容]
- ・ 定例会への出席
 - ・ 赤い羽根共同募金協力企業等の訪問活動
 - ・ 歳末たすけあい激励金贈呈にかかる協力
 - ・ 生活福祉資金貸付事務に対する協力・支援
 - ・ 心配ごと相談員への就任、定期的相談業務への従事
 - ・ 各種研修や事業等についての相談対応・連携等
 - ・ 新任委員へ本会活動の説明

エ 小山町区長会との連携による地域福祉活動の推進

地域福祉活動の充実強化のため、小山町区長会との連携による活動を推進しました。

- [内容]
- ・ 区長会への出席
 - ・ 会員世帯等への機関紙等の配布
 - ・ ふれあい茶論の地域福祉活動に対する連携
 - ・ 赤い羽根共同募金への協力
 - ・ 歳末たすけあい募金への協力
 - ・ 年間協力費の支払い等

オ 共同募金運動との連携

静岡県共同募金会及び小山町共同募金委員会と協働し、共同募金運動の促進を図るとともに、助成金の有効活用に努めました。

- [募金運動期間]
- ・ 赤い羽根募金 10月1日～12月31日
 - ・ 歳末たすけあい募金 12月1日～31日

カ 歳末たすけあい募金配分事業の実施 (1-3)

小山町民生委員児童委員協議会等との連携により、支援を必要とする人たちが年末年始に安心して過ごすことができるよう支援するため、激励金の贈呈を行いました。さらに、福祉関係当事者団体又は小規模施設が実施する事業に対して事業費助成を行いました。

なお、激励金品の支給や事業費助成について、適正かつ効果的な配分を行うため、歳末たすけあい事業配分委員会を設置しました。

(ア) 歳末たすけあい事業配分委員会の開催

[期日] 令和7年11月27日(木)

[会場] 小山町健康福祉会館

[出席者] 委員11人(本会3人・民生委員児童委員6人・職員2人)

(イ) 世帯激励金等申請受理件数

35世帯 51人

(ウ) 世帯激励金の配分実績

34世帯 50人 配分金額 607,000円

(エ) 地域福祉活動事業費助成実績

20団体 助成金額 390,000円

キ 「おやま健康マイレージ事業」への協賛（1-3）

小山町が町民の健康づくりを促進するために実施している「おやま健康マイレージ事業」の協賛事業所として、町民の健康意識向上等に積極的に貢献しました。

〔協賛内容〕 ・ハッピーチケット利用施設としての登録

・スマイル賞協賛品の提供

（「カフェ・ポム」利用券1,000円相当分×4本）

ク 福祉バス運行による地域福祉活動の支援等

本会に登録しているボランティア団体や福祉関係団体が行う交流活動や研修事業等に対し、福祉バス（マイクロバス）を利用した移動支援を行うことにより地域福祉の推進を図りました。

福祉バスの運転については、町の全面的財政支援を受け、業務委託を行いました。

ガソリン代、駐車料金、高速代等の実費は、利用団体の負担としました。

（ア）稼働日数 60日間

（イ）利用団体数 31団体（部会等も1団体として積算）

（ウ）利用統計

○団体種別統計

小山町社会福祉協議会 3団体

小山町 4団体

小山町シニアクラブ連合会 1団体

町シニア単位クラブ（連合会加入） 5団体

町シニア単位クラブ（未連合会加入） 1団体

福祉団体（会員） 1団体

福祉団体（賛助会員） 9団体

福祉団体（非会員） 1団体

ボランティア団体（会員） 1団体

ボランティア団体（賛助会員） 1団体

ボランティア団体（非会員） 1団体

民生委員児童委員協議会 7団体

区 1団体

地域団体 1団体

ふれあい茶論 1団体

居場所 1団体

○利用目的別統計

研修送迎 29回

買い物送迎 1回

大会送迎 8回

練習送迎 1回

会議送迎 1回

茶論送迎 1回

習い事送迎 1回

サークル活動送迎 1回

その他 23回

2 共生の地域づくりの推進 《地域力》

(1) 相談支援体制の推進

ア 福祉総合相談所の運営

住民等の暮らしの中でのあらゆる相談に適切な助言を行うとともに、福祉サービスへのつなぎや関係機関との連携により、課題解決に向けた取組を行うことを目的として実施します。実施にあたっては、包括的支援体制構築事業（小山町受託事業）と連携した取組を図りました。

(ア) 介護相談（定例）

[開設回数等] 年 49 回（毎週火曜日）
 [相談員] 介護支援専門員
 [会場及び相談件数] 小山町健康福祉会館 7 件

(イ) 法律相談（定例）

[開設回数等] 年 12 回（毎月 1 回／指定の水曜日）
 [相談員] 弁護士
 [会場及び相談件数] 小山町健康福祉会館 35 件
 [その他] 完全予約制（3 人）

(ウ) 心配ごと相談（定例）

[開設回数等] 年 51 回（毎週木曜日）
 [会場及び相談件数] 小山町健康福祉会館 7 件
 [相談員] 民生委員・児童委員、人権擁護委員

イ 重層的支援体制整備事業（相談支援体制）の実施【小山町受託事業】

福祉的ニーズの多様化・複雑化を踏まえ、単独の相談機関では十分に対応できない、いわゆる「制度の狭間」の課題の解決を図る観点から、複合的な課題を抱える住民等に対する包括的な支援システムを構築するとともに、ボランティア等と協働し、地域に必要なとされる社会資源を創出するために、関係機関等との連携による取組を実施しました。

[受託業務の内容]

- ・相談支援包括化推進員の配置
- ・相談者が複数の相談機関に出向くことなく、複合的な悩みを総合的かつ円滑に相談できる体制強化
- ・多機関・多職種の連携強化(含 相談支援包括化ネットワーク会議への出席等)
- ・地域に不足する社会資源の創出 他

[取組実績]

○地域生活課題に関する相談件数等（含 相談に対する情報収集）

実件数	96 件					
相談者数	96 人					
相談種別 (件)	生活困窮	56	虐待	5	医療	22
	介護	11	育成	1	障がい	26
	ひきこもり	4	地域生活	2	成年後見	31
	就労	28	その他	15		

○相談者等に対する支援件数及び内容

実件数	105件			
改善件数	44件			
主たる支援内容(件)	相談のみ	46	介護保険事業部門対応	—
	生活支援相談C対応	15	地域包括支援Cとの連携	3
	生活福祉資金対応	3	相談継続	16
	権利擁護支援C対応	9	アウトリーチ事業との連携	1
	ネットワーク会議との連携	2	参加支援事業との連携	—
	生活保護担当課との連携	4	その他	13

注)「C」：センター

○ネットワーク会議・個別ケース会議開催件数

ネットワーク会議調整件数	2件
個別ケース会議開催件数	6件

ウ 重層的支援体制整備事業(アウトリーチ・参加支援)の実施【小山町受託事業】

社会の複雑化に伴い解決ができない課題を持つ方が多く発生してきています。当事者に孤立感を持たせないために、人と人とのつながりのある地域づくりに向けた支援や地域への参加支援(伴走支援)が必要となります。そのため、町と協働し参加支援や訪問支援などができる相談に取り組みました。

[取組実績]

○アウトリーチに関する受付件数

受付件数	2件
------	----

○アウトリーチの実績

対象件数	24件
実施回数	63回
プラン作成数	1件

○参加支援の実績

対象件数	—件
実施回数	—回
プラン作成数	—件

○ネットワーク会議・個別ケース会議開催件数

ネットワーク会議参加件数	8件
個別ケース会議開催件数	4件

エ 生活支援体制整備事業の実施【小山町受託事業】

(2-1)(2-5)(3-1)(3-2)

地域における高齢者の生活支援体制整備に向けた調整役として「生活支援コーディネーター」を配置し、町や地域包括支援センター「平成の杜」との三者協働により事業を推進しました。

[受託業務の内容]

- ・地域の高齢者のニーズや、地域に不足している介護予防や生活支援のサービスの把握
- ・サービスの開発に向け、地域の関係団体等への働きかけ
- ・地域の関係団体間の情報共有や連携体制の整備
- ・サービスの担い手の発掘や要請、地域の高齢者のニーズと不足するサービスのマッチング

[取組実績]

○生活支援コーディネーターの配置

1人(常勤・兼務)1人(非常勤)

○生活支援体制整備事業推進連絡会への出席

回	期 日
第1回	令和7年 4月15日(火)
第2回	令和7年 5月20日(火)
第3回	令和7年 6月17日(火)
第4回	令和7年 7月15日(火)
第5回	令和7年 8月19日(火)
第6回	令和7年 9月16日(火)
第7回	令和7年10月21日(火)
第8回	令和7年11月18日(火)
第9回	令和7年12月16日(火)
第10回	令和8年 1月20日(火)
第11回	令和8年 2月17日(火)
第12回	令和8年 3月17日(火)

○関係会議への出席

名 称	期 日
第1層協議会会議	令和8年 2月13日(金)
第2層協議会会議	令和7年 5月 7日(水) 令和7年10月22日(水)

○本会の実施事業を通じた体制整備や調査研究等

- (1) ふれあい茶論
- (2) 社会福祉法人との連携による「県境エリア対象・移動販売事業」
- (3) 社会福祉法人等との連携による地域課題の解決に向けた取組
- (4) 住民参加型福祉サービス“オンリー・ユー♪”
- (5) 高齢者向け配食サービス“おまち堂”
- (6) その他

(2) 生活困窮者自立促進支援事業の推進

ア 静岡県生活困窮者自立相談支援事業の実施【静岡県受託事業】

(2-1)(2-3)(2-5)(3-1)(3-2)

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を構築することにより、生活困窮者の自立の促進に努めました。

[事業運営方式]

ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアムの構成法人による連携協働

[構成法人]

- ・本会を含む静岡県内12町社会福祉協議会
- ・特定非営利活動法人青少年就労支援ネットワーク静岡
- ・株式会社エステートケア沼津(居住支援法人)
- ・有限会社グローブ(居住支援法人)
- ・特定非営利活動法人POPOLO(居住支援法人)

・静岡県社会福祉協議会（代表法人）

[業務内容]

生活支援・相談センターを設置するとともに、相談支援員（2人）を配置し、総合相談受付、緊急対応、他機関へのつなぎ、プラン作成、モニタリング、評価、支援調整会議、関係機関との調整、支援者開発、ニーズ掘り起し等

[小山町支援調整会議の開催]

回	期 日	出席者数
第1回	令和7年 4月11日（金）	14機関・17人
第2回	令和7年 6月13日（金）	11機関・16人
第3回	令和7年 7月11日（金）	14機関・19人
第4回	令和7年 8月 8日（金）	11機関・15人
第5回	令和7年10月10日（金）	11機関・13人
第6回	令和7年11月14日（金）	11機関・14人
第7回	令和7年12月12日（金）	12機関・16人
第8回	令和8年 2月13日（金）	12機関・17人
第9回	令和8年 3月13日（金）	12機関・17人

[生活困窮者自立支援制度に関する支援実績] (単位:件)

新規相談受付件数（総数）	21	
プラン策定前支援終了件数（総数）	3	
支援決定・確認件数	14	
就労支援対象者数（プラン期間中の一般就労を目的としている）	4	
法に基づく事業等 利用件数	住居確保給付金	1
	シェルター事業	0
	家計相談支援事業	5
	就労準備支援事業	0
	就労訓練事業	0
その他	自立相談支援事業による就労支援	2
	生活福祉資金等による貸付	0
	生活保護受給者等就労自立促進事業	0
評価実施件数（含 再プラン）	14	

イ ふじのくに型学びの心育成支援事業の実施【静岡県受託事業】

生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の子どもを対象に学習の場の提供と学習支援を行い、生活困窮世帯等の子どもの高等学校への進学を促進することにより、就職率を向上させ、生活困窮世帯等の子どもの自立促進に努めました。

[実施日数]

- ・夏季（集合型） 令和7年 7月24日（木）～ 8月25日（月） 14日間
- ・冬季（集合型） 令和7年12月26日（金）～12月27日（土） 2日間

[運営協力]

教育支援員等 8人（男性 5人・女性 3人）

[参加者]

原則として、学習支援対象者のうち小学4年生から6年生及び中学生

[実施時間数]

- ・1日あたり2時間

[学習支援教室の設置場所等]

学習支援教室（愛称；おやま学習アシスト教室）を小山町健康福祉会館内に設置

[利用実績]

(単位:人)

区分	実人数	延人数		
		計	内訳	
			夏季	冬季
小学生	9	98	84	14
中学生	6	53	48	5
計	15	151	132	19

ウ 生活困窮世帯等を対象とする緊急食糧支援事業の連携実施

安全に食べられるにもかかわらず、包装の破損や過剰在庫、印字ミスなどの理由で流通できない食品や家庭で眠っている食品の寄贈を受け、必要としている家庭等に無償で提供するフードバンク事業を地域の仕組みとして確立させ、相互扶助の社会の実現を目的として、「特定非営利活動法人フードバンクふじのくに」等との連携による事業を実施しました。

[フードドライブ事業への協力]

年2回（8月1日～31日（寄贈重量60kg）及び1月4日～31日（寄贈重量67.3kg））、本会窓口及び小山町本庁、支所等に寄贈受付ボックスを設置し、家庭で眠っている食品を募集しました。（賞味期限が2か月以上あることが要件のひとつ）

[生活困窮世帯向けフードバンク事業の連携実施]

令和7年4月1日～令和8年3月31日

[フードドライブ&フードパントリー「おやまマーケット」への支援]

町がSDGs活動の一環として実施するフードドライブで町内各家庭から提供いただいた食料品等の無料配布を支援しました。

6月21日(土) 48世帯 48人

11月15日(土) 46世帯 46人

3月21日(土) 47世帯 47人

[御殿場・小山フードバンク協議会での生活困窮世帯への食糧支援]

町内で食品を募集し、御殿場・小山フードバンク協議会へ拋出し、パッキングし、生活困窮世帯へ食糧支援を実施しました。

8月 28世帯

12月 28世帯

3月 30世帯

エ こども食堂支援事業の実施

生活困窮世帯等に対する食糧支援の一環として、関連団体が実施する「こども食堂事業」等が効果的に運営されるよう支援を行いました。この事業は、経済的困窮世帯の支援を視野に入れた取組であり、本会として企画・運営及び財源確保に関する相談助言等を行いました。

[連携団体]

御殿場・小山フードバンク協議会

特定非営利活動法人フードバンクふじのくに

その他町内外の協力企業等

[支援内容] 問合せ窓口及び運営補助

[会 場] 小山町健康福祉会館

(ア) 小山町みんなの食堂

[支援内容] 運営補助並びに食材及び資金一部援助

[開催実績]

回	期 日	食数
第1回	令和7年 4月19日(土)	66
第2回	令和7年 5月17日(土)	56
第3回	令和7年 6月28日(土)	52
第4回	令和7年 7月19日(土)	38
第5回	令和7年 8月16日(土)	45
第6回	令和7年 9月20日(土)	37
第7回	令和7年10月18日(土)	45
第8回	令和7年11月22日(土)	54
第9回	令和7年12月13日(土)	58
第10回	令和8年 1月17日(土)	52
第11回	令和8年 2月21日(土)	48
第12回	令和8年 3月21日(土)	43

(イ) 須走ふれあい食堂おいでよ

[支援内容] 食材及び資金一部援助

(ウ) 一般社団法人 おたまちゃん食堂 小山町支部

[支援内容] 食材及び資金一部援助

(3) 資金貸付による経済的自立及び生活意欲の助長

ア 小山町生活福祉資金貸付事業の実施

生活福祉資金貸付要綱に基づき、低所得世帯に対し、必要な資金の貸付と相談支援を行うことにより、世帯の経済的な自立と生活の安定を図ることを目的として実施していましたが、貸付にいたる案件はありませんでした。

[貸付実績]

- ・日常生活費 0件 0円
- ・修学費 0件 0円
- ・家屋補修費 0件 0円

イ 静岡県生活福祉資金貸付事業の実施 【静岡県社会福祉協議会受託事業】

低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、世帯の経済的な自立と生活の安定を図ることを目的として実施しましたが、貸付にいたる案件はありませんでした。

[貸付実績]

- ・総合支援資金（生活支援費、住宅入居費、一時生活再建費）
0件 0円
- ・福祉資金（福祉費、緊急小口資金）
0件 0円
- ・教育支援資金（教育支援費、就学支援費）
0件 0円
- ・不動産担保型生活資金（不動産担保型生活資金、要保護世帯向け不動産担保型生活資金）
0件 0円

(4) 権利擁護体制づくりの推進

ア 日常生活自立支援事業の実施【静岡県社会福祉協議会受託事業】

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などのうち、判断能力が不十分な人が住み慣れた地域や自宅において自立した生活が送れるよう、利用契約に基づいて福祉サービスの利用援助等を行いました。

[サービス内容]

- ・福祉サービスの利用援助（利用手続の援助、通知確認等の援助、利用料の支払等）
- ・日常的な金銭管理（年金や手当等の受領確認、生活費に要する預貯金の払戻し及びお届け等）
- ・書類等の預かりサービス（普通預金通帳、定期預金通帳、保険証書、不動産権利書実印等）

[業務内容]

- ・相談受付業務に関する事項
- ・利用契約締結の判断に関する事項
- ・利用契約締結（含 契約書一式の作成）に関する事項
- ・支援計画に基づく援助に関する事項 他

[相談等受理件数] 計 2件

(単位:件)

問い合わせ件数	2
認知症高齢者等	0
知的障害者等	0
精神障害者等	0
その他	2
初回相談件数	2
認知症高齢者等	0
知的障害者等	0
精神障害者等	0
その他	2
相談援助件数	167
認知症高齢者等	115
知的障害者等	0
精神障害者等	29
その他	23

[利用実績] 計6人

実利用者数	6
うち 書類預かりサービス実利用者数	6
うち 新規契約利用者数	2
うち 契約終了利用者数	2
日常的な金銭管理サービス利用件数	延べ57件

[契約審査会への出席]

事務局内審査で決定されたので契約審査会への案件がなかったため、契約審査会への出席なし

イ 小山町権利擁護支援センターの実施 【小山町受託事業】

認知症や知的障がい・精神障がいなどの理由により判断能力が不十分であっても、本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるために、財産や権利を擁護するための権利擁護支援センターを設置し、成年後見制度等の総合的な利用促進を図りました。

[受託業務の内容]

- ・成年後見制度に関する相談対応
- ・成年後見制度に関する普及啓発
(普及啓発研修会の開催、本会広報紙「つながり」への関連記事掲載)
- ・市民後見人養成講座修了者のフォローアップに関する業務
- ・市民後見人活動支援に関する業務
- ・成年後見制度の利用促進
- ・関係機関との連携及び調整他

[業務実績]

- ・権利擁護及び成年後見制度に関する相談対応件数 35件
- ・成年後見制度利用支援件数 18件
- ・権利擁護及び成年後見制度に関する広報及び啓発

権利擁護支援センター紹介用リーフレット発行 令和8年 1月16日(金) 全戸及び関係施設へ配布 (約6,500か所)
成年後見制度啓発講演会の開催 令和8年 1月22日(木) 参加者34人
第1回フォローアップ研修の開催 令和7年10月22日(水) 参加者10人
第2回フォローアップ研修の開催 令和7年11月13日(木) 参加者10人
第1回意思決定支援研修 令和7年10月15日(水) 参加者3人(zoom)
第2回意思決定支援研修 令和7年11月27日(木) 参加者3人(zoom)

- ・成年後見事業運営委員会の開催
第1回 令和7年10月14日(火) 参加者数; 11人
- ・市民後見人候補者名簿への登録及び同名簿の管理 新規登録者数; 3人
- ・家庭裁判所への市民後見人候補者の推薦 被推薦者数; 1人
- ・市民後見人への活動支援

定期報告及び報告時の指導・助言等	実報告者数; 1人
活動内容の助言・指導等	1人・4回
家庭裁判所への報告書類等の作成支援	1人・5回

- ・法人後見業務実施法人への支援 延相談回数; 1回
- ・成年後見制度利用促進に伴う関係機関等との打合せ 開催回数; 1回
- ・静岡県成年後見制度利用促進協議会への出席 出席回数; 1回
- ・権利擁護支援センター職員対象の研修会への参加 4回・延べ8人
- ・御殿場市・小山町成年後見制度地域連携ネットワーク連絡協議会への参加
委員1人、事務局1人 各2回

ウ 法人後見事業の実施

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など意思決定が困難な人に対し、家庭裁判所の選任を受け、本会が法人として成年後見人等となり、親族等が個人で成年後見人等に就任した場合と同様に、判断能力が不十分な人の保護・支援を行います。あわせて、本会の特性を活かしながら、町民、福祉・法律関係職能団体と連携しながら、本人を中心とした見守りのネットワークの構築に務めました。

[受任件数]

(単位：件)

	計	類型内訳			後見等監督人 (保佐)
		後見類型	保佐類型	補助類型	
受任件数	7	3	2	2	0
うち 新規受任	5	4	1	0	0
うち 受任終了	3	1	1	0	1

3 福祉の基盤づくりの推進 《福祉力》

(1) 高齢者等への支援活動の推進

ア ふれあい茶論の実施（地域介護予防活動支援事業）【小山町受託事業】

介護保険事業実施主体の小山町から委託を受け、事業を展開しました。町民（運営協力委員等）による主体的な運営を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や開催場所が継続的に拡大していくような地域づくりを推進しました。

[開催実績]

- ・開催回数 年間 45回
- ・運営協力者数 ふれあい茶論運営協力委員 11団体 96人
- ・参加者数 延べ 1,120人
- ・協力者 民生委員児童委員、単位シニアクラブ役員、ボランティア他

[ふれあい茶論運営協力委員連絡会の開催]

- ・第1回 令和7年10月30日（木） 11人参加
- ・第2回 令和8年3月12日（木） 12人参加

イ 緊急通報システム設置事業（緊急通報体制整備事業）の実施【小山町受託事業】

一人暮らし高齢者や高齢者世帯等で身体に不安を抱え日常生活に不安を持つ人を対象として、緊急通報装置の提供等を実施しました。

[利用実績]

- ・実利用者数 26人（利用開始 1人・利用終了 7人）
- ・延べ利用件数 261件

ウ 宅老所「ひだまり」の運営

昼間独居高齢者や高齢者世帯を対象に、大人数でのデイサービス等の利用に馴染めない人たちの介護予防や孤独感解消を目的として実施しました。

[実施回数] 11回（原則として、第3水曜日）

[実参加者数] 延べ59人

[実施場所] 小山町健康福祉会館

[運営協力者] 個人ボランティア（4人）

エ 健康安全運転講座の実施

高齢者を対象に、民間事業所と協働し、「健康指導」「予防安全・運転士支援機能体験」等の講座を実施しました。

[開催実績]

[開催場所] 小山町健康福祉会館 健康運動室

[開催日時] 令和7年10月21日（火）

[参加者数] 14人

[講師] JAF、ダイハツ沼津販売、理学療養士

(2) サービスの提供力を高める

ア 住民参加型福祉サービス“オンリー・ユー♪”の実施

既存の公的制度では十分な対応が困難な町民を対象とした有償ボランティア（協力会員）によるサービスを町内全域で実施しました。

[登録会員数]

- ・利用会員 13人（男3人、女10人）
- ・協力会員 11人（男5人、女6人）

[利用実績]

- ・延べ利用回数 333回
- ・延べ利用時間数 182時間30分

イ 高齢者向け配食サービス“おまち堂”の実施（小山町在宅高齢者食の自立支援事業）【小山町受託事業】

在宅高齢者を対象として、栄養改善と見守りを兼ねた食事の提供により、介護状態への進行の防止を図り、高齢者が地域において自立した日常生活を営めるよう支援するため、配食サービスを実施しました。

[運営主体]

高齢者向け配食サービス“おまち堂”コンソーシアム

[構成法人]

- ・社会福祉法人小山町社会福祉協議会（代表法人）
- ・社会福祉法人寿康会

[登録状況]

- ・登録利用者 8人（男2人、女6人）
- ・配達ボランティア申出者数5人（男2人、女3人）

[利用実績]

- ・実利用者数 8人
- ・配食数 1,539食

ウ 介護職員初任者研修受講支援の実施

災害発生時等の非常時に介護ボランティアとして協力できる人材を確保するため、基本的な介護の知識・技術を学ぶ介護職員初任者研修の受講費用への支援制度を創設しましたが、利用者がありませんでした。

(3) 社会福祉法人等との連携による地域課題解決に向けた取組

ア おやま福祉介護アライアンス・ネットワーク会議の開催

社会福祉法人・医療法人・社団法人・NPO法人・営利法人等の多様な種別の法人が運営する社会福祉施設やサービス事業所の連携強化を図り、各法人が蓄積しているノウハウを活かして制度の狭間にある地域課題の解決に向けた取組を進めるため会議を開催しました。

[対象法人数] 15法人（令和8年3月時点）

[内 容] 長泉町における法人間連携事務の取組事例紹介 他

[開 催 日] 令和7年9月18日（木）

イ コンビニエンスストアとの連携による移動販売事業の実施

本会では、小山町内の店舗空白地域における買い物弱者対策として、コンビニエンスストアが運営する移動販売事業と連携した地域支援に取り組みました。

連携法人（事業所）	株式会社河村商事（ローソン小山町わさび平店）
実施エリア	小山町内全域

（４） 社会福祉法人としての「地域における公益的な取組」の推進

ア 静岡県災害派遣福祉チーム（静岡DWAT）への登録及び活動の連携

大規模災害時に避難所などで福祉的配慮が必要な人を発見し支援する静岡DWATに本会職員を登録し、被災地における活動を支援しました。

新たに1人登録するため、研修に参加させました。

〔活動実績〕 牧之原市 2人

〔登録者数〕 2人（令和8年3月末現在）

※上記以外に、大規模災害被災地への本会支援として、牧之原市及び吉田町に各1人の職員を派遣しました。

イ 運転免許自主返納者等サポート事業への協力

本会では高齢ドライバーの交通事故防止対策と運転免許自主返納者等の生活支援を目的として、自主返納者等が運転経歴証明書を店舗などに提示することで、様々な特典やサービスを受けられる事業にサポート店として登録・協力しました。

〔事業主体〕 静岡県警察本部

〔サービス内容〕 カフェ・ポム利用券（100円×10枚分）の贈呈

〔サービス実績〕 なし

ウ 福祉車両貸出事業及び福祉車両取扱講習の実施

在宅で生活する障がいのある人や要支援高齢者等が、公共交通機関を利用せずに外出する場合に、介護者の負担軽減と利用者の生活範囲拡大を助長することを目的として福祉車両を貸し出しました。

〔貸出用車両台数〕 軽自動車 1台（車椅子のまま乗車可能）

〔利用料金〕 無料（車両燃料費は距離に応じて実費負担）

〔貸出実績〕 24件

エ 車椅子短期無料貸出事業の実施

介護保険対象外サービスの一環として、要介護高齢者等や疾患による在宅生活を送る人たちの安心安全な環境を提供することを目的に、無料で車椅子の短期間貸し出しを行いました。

〔貸出可能台数〕 標準型車椅子 9台

〔利用実績〕 延べ 48件

オ 福祉おたすけグッズ（地域福祉活動用資機材）貸出事業の実施

本会会員である地域活動団体等が行う地域福祉活動の積極的な展開を支援するために、各種の活動用資器材を無料で貸し出しました。

〔貸出機材の種類〕

ポップコーン機、綿菓子機、視聴覚機材、小型放送機材、白杖、点字器、アイマスク他

〔利用実績〕 延べ19件

カ 障がい者週間啓発事業の共同開催

御殿場・小山障がい者自立支援協議会主催の障がい者週間啓発事業に対し、事業費の一部を負担するとともに、運営補助を行いました。

[事業名] 障がい者週間啓発講演会

[実施日] 令和7年12月14日(日)

[会場] 御殿場市民交流センター 交流ホール

[テーマ] 「心を楽に、ありたい自分で

～地域とピアサポートから考えるこころの健康～」

(5) 法人組織の基盤を強める

ア 法人経営に関する各種会議の開催

(ア) 理事会の開催

第1回	開催日	令和7年6月9日(月)
	議題	<p><決議事項></p> <p>第1号議案 生活福祉資金貸付要綱の一部改正 第2号議案 事務局組織規程の一部改正 第3号議案 令和6年度事業報告書及び附属明細書案 第4号議案 令和6年度一般会計収支決算報告書案 第5号議案 令和7年度一般会計資金収支補正予算(第1号)</p> <p>第6号議案 評議員選任・解任委員会外部委員の選任 第7号議案 評議員選任候補者の推薦 第8号議案 理事選任候補者の推薦 第9号議案 監事選任候補者の推薦 第10号議案 定時評議員会の招集</p> <p><報告事項></p> <p>第1号報告 会長及び常務理事の職務執行状況 第2号報告 令和6年度決算監査結果 第3号報告 不祥事防止対策への取組状況</p>
第2回	開催日	令和7年6月26日(木)
	議題	<p><決議事項></p> <p>第11号議案 会長の選任(会長候補者退席) 第12号議案 副会長の選任(副会長候補者退席) 第13号議案 常務理事の選任(常務理事候補者退席)</p> <p>第14号議案 事務権限規程の一部改正</p> <p><報告事項></p> <p>第4号報告 評議員選任・解任委員会の開催結果 第5号報告 会長及び常務理事の職務執行状況</p>
第3回	開催日	令和7年9月17日(水)
	議題	<p><決議事項></p> <p>第15号議案 令和7年度一般会計資金収支補正予算(第2号) 第16号議案 短時間労働者就業規程の制定 第17号議案 職員の懲戒処分 第18号議案 評議員会の招集</p>

		<p>〈報告事項〉</p> <p>第6号報告 会長及び常務理事の職務執行状況 第7号報告 ワークホーム・アップルの在り方検討会の設置</p> <p>〈協議事項〉</p> <p>第1号協議 第2次中期経営計画（素案）</p>
第4回	開催日	令和7年12月11日（木）
	議 題	<p>〈決議事項〉</p> <p>第19号議案 評議員選任候補者の推薦 第20号議案 理事選任候補者の推薦 第21号議案 監事選任候補者の推薦 第22号議案 令和7年度一般会計資金収支補正予算（第3号） ※取下げ 第23号議案 評議員会に関する決議の省略 ※取下げ 第24号議案 令和7年度一般会計資金収支補正予算（第4号） 第25号議案 就業規程の一部改正 第26号議案 育児・介護休業等に関する規程の一部改正 第27号議案 評議員会の招集</p> <p>〈報告事項〉</p> <p>第8号報告 会長及び常務理事の職務執行状況 第9号報告 上期定期監査結果報告 第10号報告 町監査委員による令和7年度財政的援助団体に関する監査結果報告 第11号報告 臨時沼津労働基準監督署調査結果報告</p> <p>〈協議事項〉</p> <p>第2号協議 第2次中期経営計画（素案）</p>
第5回	開催日	令和8年3月5日（木）
	議 題	<p>〈決議事項〉</p> <p>第28号議案 副会長の選任 第29号議案 評議員会の招集</p> <p>〈報告事項〉</p> <p>第12号報告 労働災害の発生 第13号報告 ワークホーム・アップルの在り方検討会の検討経過</p> <p>〈協議事項〉</p> <p>第3号協議 令和8年度事業計画書（案）</p>
第6回	開催日	令和8年3月24日（金）
	議 題	<p>〈決議事項〉</p> <p>第30号議案 給与規程の一部改正 第31号議案 経理規程の一部改正 第32号議案 事務権限規程の一部改正 第33号議案 押印等の見直しに伴う関係規程の整備に関する規程の制定 第34号議案 役員等賠償責任保険契約の締結 第35号議案 令和7年度一般会計資金収支補正予算（第5号） 第36号議案 令和8年度事業計画</p>

		第37号議案 令和8年度一般会計資金収支当初予算 第38号議案 第2次中期経営計画 〈報告事項〉 第14号報告 会長及び常務理事の職務執行状況 第15号報告 職員の副業・兼業の許可に関する取扱要綱の制定 第16号報告 ワークホーム・アップルの在り方検討会の検討経過
--	--	---

(イ) 監事会の開催

第1回	開催日	令和7年5月21日(水)、22日(木)及び23日(金)
	内容	決算監査
第2回	開催日	令和7年11月17日(月)及び同月21日(金)
	内容	定期監査

(ウ) 評議員会の開催

法人経営上の重要事項の議決機関として、役員(理事・監事)の選解任、事業計画・事業報告及び収支予算・決算報告の承認等の重要な案件について審議を行います。

第1回	開催日	令和7年6月26日(木)
	議題	〈決議事項〉 第1号議案 令和6年度事業報告書案 第2号議案 令和6年度一般会計資金収支決算報告書案 第3号議案 令和7年度一般会計収支補正予算(第1号) 第4号議案 理事の選任 第5号議案 監事の選任 〈報告事項〉 第1号報告 決算監査結果報告 第2号報告 第16回評議員選任解任委員会の開催結果報告 第3号報告 生活福祉資金貸付要綱の一部改正 第4号報告 不祥事再発防止対策への取組状況
第2回	開催日	令和7年9月30日(火)
	議題	〈決議事項〉 第6号議案 令和7年度一般会計収支補正予算(第2号) 〈報告事項〉 第5号報告 短時間労働者就業規程の制定 第6号報告 ワークホーム・アップルの在り方検討会の設置 第7号報告 職員の懲戒処分 (協議事項) 第1号協議 第2次中期経営計画(素案)
第3回	開催日	令和7年12月22日(月)
	議題	〈決議事項〉 第8号議案 理事の選任 第9号議案 監事の選任

		第10号議案 令和7年度一般会計収支補正予算（第4号） 〈報告事項〉 第8号報告 第17回評議員選任解任委員会の開催結果報告 第9号報告 上期定期監査結果報告 第10号報告 町監査委員による令和7年度財政的援助団体に関する監査結果報告 第11号報告 就業規程の一部改正 第12号報告 臨時沼津労働基準監督署調査結果報告 〈協議事項〉 第2号協議 第2次中期経営計画（素案）
第4回	開催日	令和8年3月27日（金）
	議 題	〈決議事項〉 第11号議案 令和7年度一般会計資金収支補正予算（第5号） 第12号議案 令和8年度事業計画 第13号議案 令和8年度一般会計資金収支当初予算 第14号議案 第2次中期経営計画 〈報告事項〉 第13号報告 押印等の見直しに伴う関係規程の整備に関する規程の制定 第14号報告 労働災害の発生 第15号報告 ワークホーム・アップルの在り方検討会の検討経過

(エ) 評議員選任・解任委員会の開催

第1回	開催日	令和7年 6月18日（水）
	議 題	評議員の選任及び解任
第2回	開催日	令和7年12月17日（水）
	議 題	評議員の選任及び解任

(オ) 職員会議の開催

a 所属所長会議

第1回	令和7年 5月 7日（水）
第2回	令和7年 6月 2日（水）
第3回	令和7年 7月 7日（月）
第4回	令和7年 8月 6日（水）
第5回	令和7年 9月 1日（月）
第6回	令和7年10月 6日（月）
第7回	令和7年11月 7日（金）
第8回	令和7年12月 1日（月）
第9回	令和8年 1月 7日（水）
第10回	令和8年 2月 5日（木）
第11回	令和8年 3月 2日（月）
第12回	令和8年 3月23日（月）

- b 所属所別会議
各所属において月1回開催した。

イ 役員及び評議員に対する研修会の開催

令和7年6月に一斉改選があり、新役員（理事・監事）及び評議員に対して、社会福祉協議会に関する研修を行いました。

[期日] 令和7年6月26日（木）

[会場] 健康福祉会館2階会議室A

ウ 公益通報者保護体制の整備

[委託先] あかまつ司法書士事務所（所在地：沼津市下川原町3-9-10）

[委託内容] 本会役職員や関連事業者からの通報受理・調査実施等

[委託料等] 通報受理や調査の実績に応じた委託料、調査に要した旅費交通費の実費

[通報受理件数] 0件

エ 苦情解決体制の整備

本会のサービス事業等についての苦情や要望に対して適切に対応するため、苦情受付窓口（お客様相談窓口）を設置し、利用者のサービスに対する満足度を高めるとともに、利用者個人の権利を擁護しながら社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で、円滑かつ円満な問題の解決を図る体制を整備しています。

[苦情解決関係者の配置] 苦情解決責任者（事務局長）、苦情受付担当者（事業所管理者3人）、第三者委員（2人）

[苦情解決委員会の開催] 令和8年3月30日（月）

[申立て件数実績] 0件

オ 第6次地域福祉活動計画の進行管理

地域福祉活動計画の効果的な推進について、広く町民等の意見を聴取するため、「小山町社会福祉協議会地域福祉活動計画推進懇談会」の開催による進行管理を行いました。

(ア) 計画推進期間 令和7～11年度（5か年）

(イ) 推進懇談会の開催

[期日] 令和8年2月27日（金）

[会場] 小山町役場本庁舎

[その他] 小山町地域福祉計画推進懇談会との合同開催

カ 計画的かつ効率的な人材確保と定着支援

地域ニーズに係る多種多様な福祉事業に対応できる職員の確保と定着支援をねらいとし職員への資格取得の機会を促し、専門職集団として質の高い相談支援やサービス提供体制を引き続き維持しました。

キ 働き方改革の推進と働きやすい職場環境の整備

(ア) 年次有給休暇の取得促進に向けた計画的付与制度（計画年休）

計画年休として本会から指定することなく職員各人が自発的に計画的に年休を取得しました。

(イ) 副業・兼業の促進

職員7人に対して副業・兼業を許可しました。

働き方改革の趣旨を踏まえ、許可基準等を明確にするため、取扱要綱を制定しました。

(ウ) 職員へのフレックスタイム制の導入

介護職職員及び育児期の職員に対して、希望する時間に勤務が可能となるように、フレックスタイム制を導入しました。

ク 職員健康診断の実施

労働安全衛生法に基づき、職員に対して、定期健康診断を実施しました。

ケ 業務効率化の実現

電子データの保存整理をし、業務効率化に努めました。

コ 障がい福祉サービス多機能型事業所移行検討委員会の開催

ワークホーム・アップル（就労継続支援B型）の利用者の増加や地域ニーズへの対応のため、事業再編を視野に入れながら、前年度に引き続き諸課題の解決に向けた具体的な検討を行いました。

開催日	内容
令和7年10月30日（木）	ワークホーム・アップルの現状と課題
令和8年1月26日（月）	ワークホーム・アップルの課題と対応策
令和8年2月18日（水）	施設見学（沼津市：エンゼルランプ）
令和8年3月6日（金）	施設見学（清水町：アグレス）
令和8年3月16日（月）	アンケート結果及びワークホーム・アップルの方針

サ 職員の安全運行管理体制の強化

職員の業務用車両及び自家用車両の安全な運行並びに適正な管理を行うために、下記の取組を行いました。

(ア) 全業務用車両へのドライブレコーダー設置・活用

〔現保有台数〕 11台（法人全体）

〔設置済台数〕 11台（〃）

(イ) アルコール検知器による毎日の検査

(ウ) 御殿場地区安全運転管理協会への重大事故の報告

〔重大事故の定義〕 死亡事故、酒気帯び運転、無免許運転、薬物等運転、ひき逃げ事故

〔重大事故発生件数〕 0件

(エ) ヒヤリハット事象の共有

ヒヤリハットの報告を義務付け、実施しました。

シ 小山町行政や静岡県社会福祉協議会等の関係機関・団体との連携強化（3-5）

本会における適正な法人経営及び時代の潮流に対応した先駆的な事業展開に資するため、日常的な連携強化を図るとともに、積極的な提言活動に努めました。

ス 感染症の蔓延や大規模災害発生時に備えた安定的・継続的な事業運営体制の構築 (3-5)

感染症や災害発生時において、必要なサービス提供や事業が安定的かつ継続的に実施できる体制を構築するために、下記の取組を行います。

(ア) 日常的な感染症対策の強化 (感染対策用品の備蓄、感染対策関係研修会の実施他)

・感染症対策委員会の実施

第1回	令和7年 6月 2日 (水)
第2回	令和7年 9月 1日 (月)
第3回	令和7年12月 1日 (月)
第4回	令和8年 3月 2日 (月)

(イ) 事業継続計画 (BCP) の見直し

・見直しに関する所属長会議

開催日 令和8年3月2日 (月)

セ 人事評価制度試行の継続実施 (3-5)

介護事業所及びワークホーム・アップルの職員以外の職員に対し、業務目標を明らかにし、分掌事務の進捗状況を把握できるように、人事評価制度の充実に努めました。なお、介護事業所及びワークホーム・アップル職員については、当面、業務目標をたてることなく、利用者からの苦情等の状況を加味し、評価としました。

ソ 第1次中期経営計画の見直し (3-5)

令和4年度に策定した第1次中期経営計画を見直し、第2次中期経営計画を策定しました。

タ 重層的支援体制整備事業に関する職員研修

重層的支援体制制度を共通理解するため町が実施した職員研修に参加しました。

開催日 令和8年1月16日 (金)

内容 ミニ講義及び事例研究

参加者 本会職員6人参加

チ 不祥事再発防止対策の着実な実行

令和5年度に設置した不祥事再発防止対策検討委員会から答申された不祥事再発防止対策を着実に実行しました。

(ア) 外部講師を招いて、コンプライアンスに関する研修を行いました。

(イ) 受託事業も含めた会計事務に関する研修を行いました。

(ウ) 本会監事による監査と調整し、税理士による決算会計監査を行いました。

(エ) 業務マニュアルを更新しました

ツ 虐待防止検討委員会の開催

開催日 令和8年3月2日 (月)

テ 身体拘束等適正化委員会の開催

開催日 令和8年3月2日 (月)

ト 感染症対策委員会の開催

(再掲)

第1回	令和7年 6月 2日 (水)
第2回	令和7年 9月 1日 (月)
第3回	令和7年12月 1日 (月)
第4回	令和8年 3月 2日 (月)

(6) 安定した自主財源の確保

ア 会員会費の拡充

町民等に本会の活動等を広く理解してもらうとともに、効果的かつ先駆的な地域福祉活動を展開していくための基盤となる会員の拡充と財源確保に努めました。

[加入実績]

- ・普通会員 5, 414世帯、40団体・施設
- ・賛助会員 101人、135事業所

イ リサイクル活動の展開 (3-4)

町民等から寄せられる下記物品の回収及び換金を行うことによる自主財源の確保に努めました。(就労継続支援B型事業における「リサイクル事業」分を除く)

[回収対象品目]

プルタブ、使用済み切手、未使用切手、未使用官製はがき

4 指定介護保険事業の経営

(1) 居宅介護支援事業の経営

ア 居宅介護支援事業所の経営

介護支援専門員（ケアマネジャー）が、本人や家族の心身の状況や生活環境、希望等沿って、居宅サービス計画書（ケアプラン）を作成しました。そのプランに基づいて介護保険サービス等を提供する事業者との連絡や調整を行いました。

事業所の名称	小山町社会福祉協議会 居宅介護支援事業所
所在地	駿東郡小山町小山75-7（法人本部と同じ）
事業所番号及びサービスの種類	2271300077（小山町長指定） (1) 居宅介護支援
従業者数	計2人（令和8年3月末時点） ・管理者（兼主任介護支援専門員）1人（常勤兼務1人） ・主任介護支援専門員 1人（常勤専従1人）
実施事業	(1)居宅介護支援事業 (2)介護予防サービス計画作成業務【小山町地域包括支援センター「平成の杜」受託事業】 (3)介護認定調査業務【小山町・その他市区町村受託事業】
業務内容	(1) 毎月の訪問、モニタリング (2) サービス担当者会議の開催 (3) ケアプラン及び介護予防プランの作成 (4) 関係機関や施設との連絡調整による利用者支援 (5) ケア会議への出席 (6) 介護サービス情報公表の対応 (7) 事業の啓発活動の実施 (8) 介護認定調査の実施 他

(7) 介護度別居宅介護支援費提出実績

要介護1	384件
要介護2	244件
要介護3	123件
要介護4	122件
要介護5	76件
計	949件

(イ) 介護度別介護予防サービス計画提出実績【小山町地域包括支援センター受託事業】

要支援1	27件
要支援2	31件
計	58件

(ウ) 要介護認定調査の実施【小山町及びその他市区町村受託事業】

- ・受託件数 140件

(2) 訪問介護事業の経営

ア 訪問介護事業所の経営

居宅で生活する高齢者が要介護状態又は要支援状態（総合事業対象者を含む）であっても、食事・排泄・入浴の介護、生活援助、その他の日常生活にわたる援助を行うことにより、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を送ることができるように支援しました。

事業所の名称	小山町社会福祉協議会 訪問介護事業所
所在地	駿東郡小山町小山75-7（法人本部と同じ）
事業所番号及びサービスの種類	2271300077（静岡県知事指定） (1) 訪問介護 2271300077（小山町長指定） (1) 訪問介護相当サービス
従業者数	計8人（令和8年3月末時点） ・管理者（兼 サービス提供責任者・ホームヘルパー） 1人（常勤兼務 1人） ・サービス提供責任者（兼 サービス提供責任者・ホームヘルパー） 1人（常勤兼務 1人） ・ホームヘルパー 6人（非常勤専従6人）
実施事業	(1) 訪問介護 (2) 訪問介護相当サービス
業務内容	(1) ケアプランに沿ったサービス提供 (2) サービス担当者会議への出席 (3) 介護サービス情報公表の対応 (4) 他のサービス事業者等との連携 (5) サービス検討会の開催（定例開催 6回） (6) 内部研修の開催（サービス検討会と同日開催）

(ア) 介護度別請求実績

	介護度別							
	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
延利用者数	59	22	96	67	57	41	11	8
	延べ				361人			
延利用件数	延べ				420件			

(イ) 訪問介護事業・サービス検討会の開催

回	期 日	内 容
1	令和7年 5月29日(金)	・認知症ケア
2	令和7年 7月31日(金)	・接遇 ・虐待防止・身体拘束
3	令和7年 9月30日(水)	・感染症・食中毒予防及び蔓延防止
4	令和7年11月30日(月)	・業務継続計画（BCP）
5	令和8年 1月29日(金)	・事故発生やその再発防止策 ・事故発生等緊急時の対応
6	令和8年 3月31日(水)	・倫理及び法令遵守 ・プライバシーの保護

5 指定障がい福祉サービス事業の経営

(1) 居宅介護事業の経営

ア 訪問介護事業所（居宅介護）の経営

身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児、難病等対象者が在宅で安心して暮らすことができるよう入浴、排泄、食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事、生活等に関する相談及び助言並びにその他の日常生活における援助を行った。なお、事業所名、従事者数、業務内容は、訪問介護事業と同様である。

[サービス提供実績]

実利用者数	5人
延訪問回数	420回
延訪問時間数	359時間

(2) 就労継続支援B型事業の経営

ア 就労継続支援B型事業所の経営

一般企業への就職が困難な障がいを持つ人に就労機会を提供するとともに、生産活動を通じて、その知識と能力の向上に必要な訓練などの障がい福祉サービスを提供しています。「B型」は雇用契約を結ばず、利用者が作業分の対価を工賃として得ることができる、比較的自由に働ける“非雇用型”の事業所です。

事業所の名称	ワークホーム・アップル
所在地	駿東郡小山町菅沼253-1
指定事業所番号及び実施事業	2211320052（静岡県知事指定） (1)就労継続支援B型
事業所の構成	(1)本体施設 ワークホーム・アップル（所在地；上記と同じ） (2)サテライト施設（出張所） カフェ・ポム（小山町役場本庁舎1階）
利用定員	20人
従業者数	計8人（令和8年3月末時点） 施設長（地域福祉室長） 1人（非常勤兼務 1人） 施設長代理（兼 職業指導員） 1人（常勤兼務 1人） サービス管理責任者 1人（常勤兼務 1人） 生活支援員 1人（常勤兼務 1人） 職業指導員 4人（非常勤兼務 4人）
実施事業	就労継続支援B型
業務内容	(1) 就労支援事業（自主事業、受託事業、喫茶事業、リサイクル事業、食堂受託事業）の実施 (2) 利用者送迎サービスの実施 (3) 定例年間事業の実施（別表「年間事業計画表」のとおり）

(ア) 利用実人数 13人

内訳	居住地別	小山町	11人	男性	5人
				女性	6人
	御殿場市	2人	男性	2人	
			女性	0人	

(イ) 事業内容

- ・ 自主事業（クッキー、ケーキ、縫製品等）
- ・ 受託事業
- ・ リサイクル事業
- ・ 喫茶事業（サテライト施設「カフェ・ポム」／小山町役場本庁1階）
- ・ 食堂事業（受託事業／小山町役場本地下）

(ウ) 利用実績

開所日数	232日
延利用者数	2,554人
平均利用率	84.6%
月額平均工賃	25,454円

(エ) 事業実施状況

実施時期	事業内容等	備考
令和7年5月	2日 利用者健康診断	共催
	21日 保護者会	
6月	13日 利用者・職員向け日帰り研修会	
7月	1日 第1回防災訓練	
8月	8日 夏季大掃除	共催
	12日 夏休み(12日～15日)	
9月	8日 第2回防災訓練	
	13日 小山町ふれあい広場	参加
10月	22日 モルック大会	参加
11月	6日 第3回防災訓練	
	13・14日 親子研修会	
12月	17日 クリスマス会	
	26日 冬季大掃除	
	29日 冬休み(29日～1月4日)	
令和8年1月	9日 お楽しみ会・新年会	
2月	4日 アップル開所記念日	
3月	3日 第4回防災訓練	
	31日 春休み	

毎週 水曜日	音楽訓練
毎週 火曜日	買物訓練
毎週 火・水曜日	調理訓練
毎月 第3木曜日	小山町民生委員児童委員協議会による環境美化活動
毎月 第4水曜日	小山町民生委員児童委員協議会によるリサイクル活動
毎月 最終月曜日	大脇区等によるリサイクル活動

Ⅱ 事業報告の附属明細書

令和7年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成しない。

社会福祉法人 小山町社会福祉協議会